

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

チーム武庫 3月末号

三田市立武庫小学校長 松田文貴

《卒業おめでとうございます！》

本日、第41回卒業式が体育館にて挙行されました。卒業生のみなさん、保護者の皆様、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。昨年度同様、卒業生、職員、保護者のみの出席による式でしたが、卒業生は落ち着いた態度で、それぞれの思いを胸に、元気に巣立ってくれました。

今年度は、プールや調理実習の再開、音楽会による学年での演奏など、少しずつ活動の幅が広がりましたが、日々の授業や学校行事においてはまだ制限がかかった1年でした。しかしながら、6年生が工夫を凝らし、下級生をリードするような行事を企画、実施してくれました。オンラインをうまく活用し、1年生を迎える会や、3年ぶりに復活した「武庫フェスティバル」などを開催することができました。3学期に入り、学年を越えて遊ぶなど、下級生を意識して取り組む姿も見せてくれていました。

学年目標は「凜」でした。行事のたびに活躍する姿、日常的に下級生と関わる姿、まさしく学年目標を実践してくれました。そして、今日入場する姿、卒業証書を受け取る姿、式辞を静かに聞く姿は「凜」としていました。

式辞では、「自分の好きなことを見つけ、とことんまで楽しむこと」「自分に人に、周りのものに優しくすること」などについて話をしました。授業で話したことや、日々伝え続けてきたことではありますが、静かに聴いてくれている様子を見て、頼もしく思いました。

4月からは中学生です。自分の夢や目標を見つけ、それに向かって力強く歩んでほしいと願っています。卒業されても武庫小学校はみなさんを応援し続けます。また、帰ってきてくれることを楽しみにしています。

《感染症対策について》

新聞等でマスク解除のニュースが流れています。屋内での活動においても個人の判断にゆだねられるという報道がなされていますが、感染者は出ている状況であり、コロナウイルスが完全に収束したわけではないので、依然として感染予防策は講じなければなりません。引き続き状況に応じてのマスク着用や手指消毒等、予防策の徹底をよろしくお願いいたします。

習い事に行ったり、家族と買い物に行ったり、春休み中に外出予定があるかもしれませんが、休み中の過ごし方についてご家庭における指導をよろしくお願いいたします。友だちと遊ぶことがある場合は、遊び方等についても感染予防の観点から、お子様への声かけをよろしくお願いいたします。学校における教育活動については新年度に入り、国や県、市の方針にのっとり対応していく予定です。

学校で配布されました「春休みのくらし」をよくお読みいただき、中学校入学前の春休みを健康かつ安全に過ごせるよう、ご配慮をお願いいたします。



【6年生を送る会】



【先生招いてお別れ会】

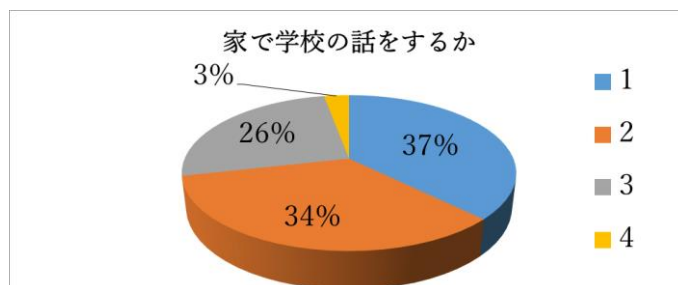
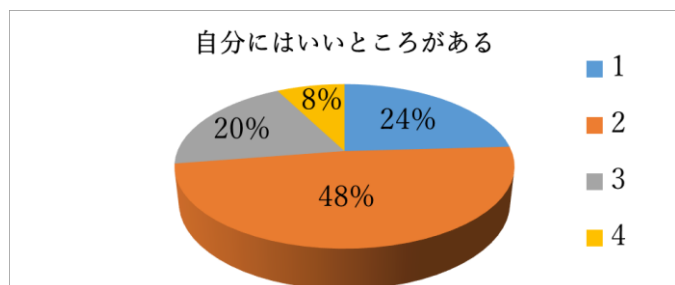
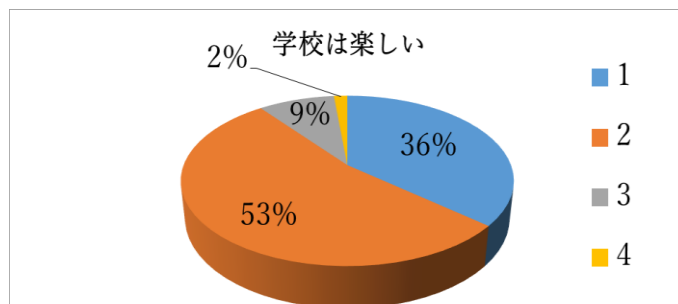
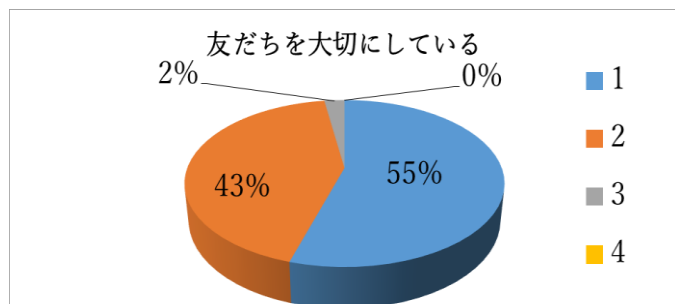


【卒業式の装飾】

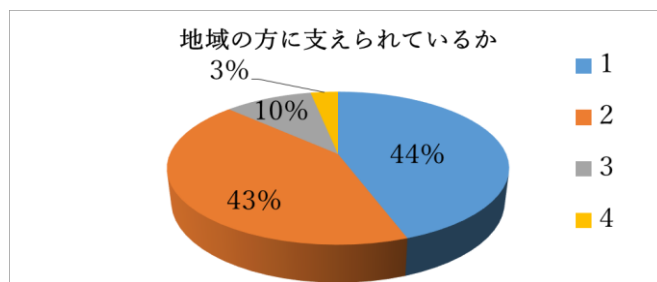
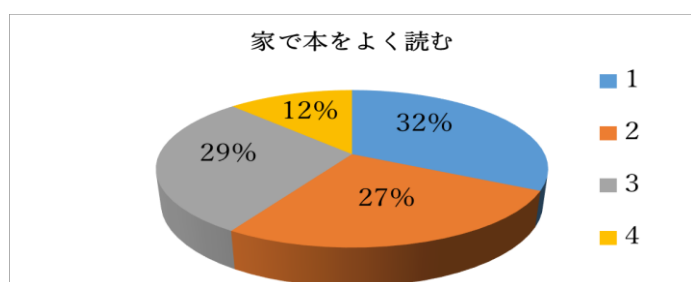
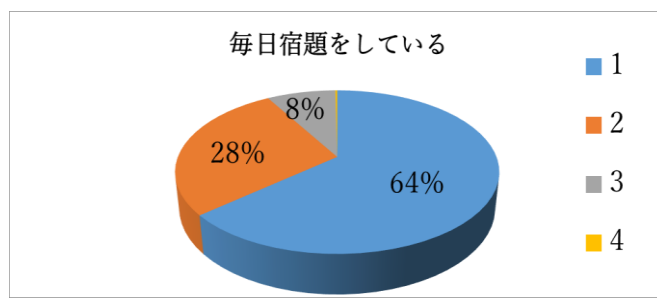
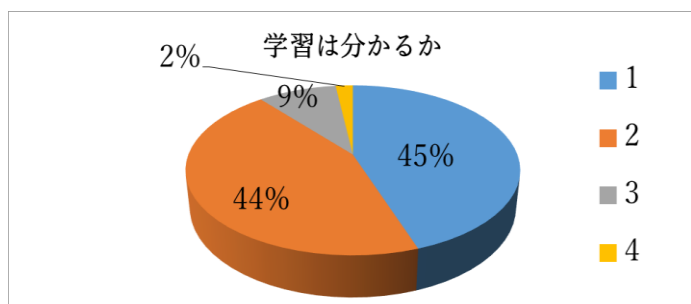
《学校評価について》

児童、保護者、職員、それぞれに日々の生活を振り返りながらアンケートを取りました。その結果を集計し、学校地域運営協議会において報告し、外部評価をいただきました。アンケート結果のうち、児童アンケートの人権教育、学習指導、生活指導等に関する部分について抜粋したものをお知らせします。

1 = 肯定 2 = どちらかと言えば肯定 3 = どちらかと言えば否定 4 = 否定



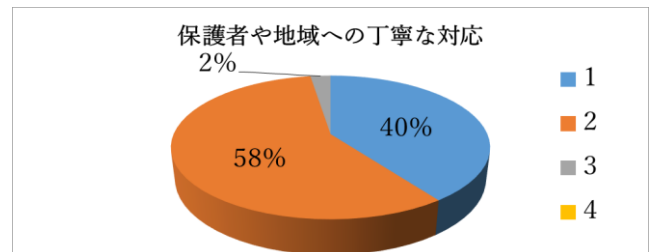
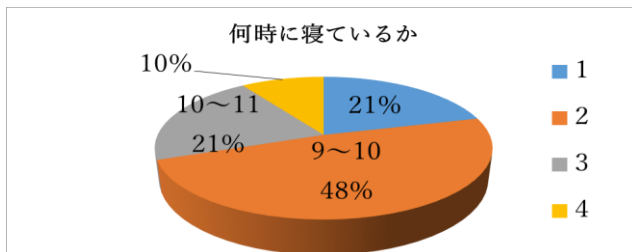
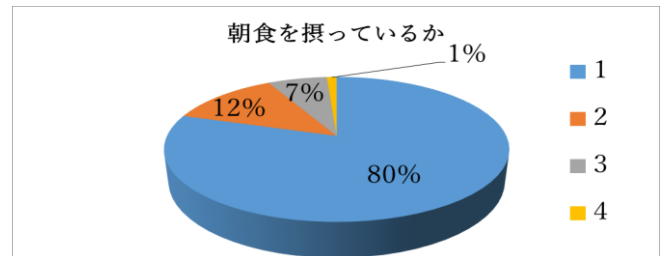
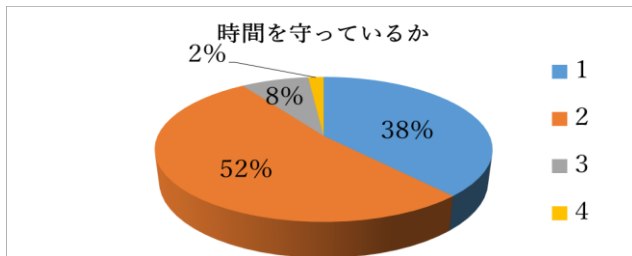
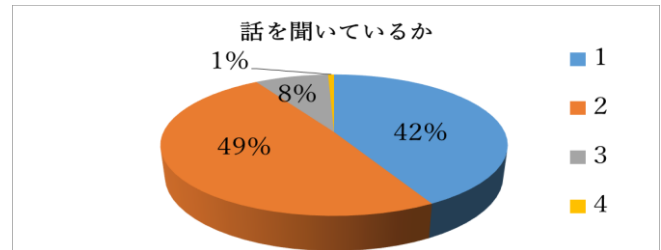
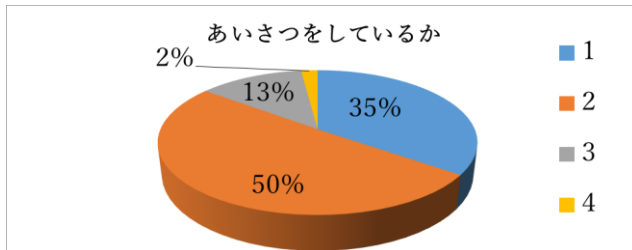
学校が楽しいと9割近くの子が回答しています。しかしながら、そうは思っていない子が1割程度います。保護者の方は97%が肯定でした。お家で学校の話をするという項目では30%近くの子が否定的回答で、保護者回答は15%でした。より楽しい学校づくりを進めていくとともに、子どもたちの気持ちを丁寧に聞いていきたいと思えます。また、友だちを大切にしていると感じている子が多いですが、学校でのトラブルが見られることもあり、人を大切にするということについて、引き続き学びを深めたいと考えます。日本の子は諸外国に比べ、自尊心が高くないと言われますが、先日発行しました「心ぽかぽか」にもありましたように、自己肯定感を高める取り組みをさらに進めていきます。



学習面においては、「学習がよくわかる」「家で宿題をしている」について、昨年同様の結果となりました。子どもたちの自己評価の高さに比べ、保護者、教員は十分でないとみえています。これは大人の求める基準が子どもに比べ高くなってしまっていることから来ています。子どもたちは9割近くが「よくわかる」と回答しています。これからもわかる授業を展開するとともに、「わからない」ことをそのままにしない取り組みを進めていきます。

読書については児童、保護者ともに同様の結果でした。「家で読書の時間がとれない」という声も聞かれましたが、ゲームやネット動画の時間は確保されています。読書と学力は密接な関係があると言われます。「ノーゲームデー、ノースマホデー」等の工夫が必要です。

地域のボランティアのみなさんに支えていただいていることの実感も高学年になるほど高いです。武庫小学校は地域の支援に支えられている学校です。今後ともご理解・ご協力をお願いします。



あいさつについては、児童、保護者ともに「できている」と感じている割合が高くてました。毎回のことではありますが、職員や地域の方からはそれほどの実感は得られませんでした。「自分から進んで」という部分について、十分でないと判断したことが考えられます。登校時も会話中にあいさつをしても会話をやめず素通りしていく姿がよく見られます。今後もあいさつについて、長い目で見ながら継続していきたいと思えます。

話を聞くこと、時間を守ることについては、児童の自己評価と保護者の評価に差が出ました。「聞いている」のか「聞いて理解している」のかが評価の分かれ目かもしれません。時間を守ることについても登校の様子が評価に影響を与えていることが考えられます。引き続き指導していくとともに、私たち大人が手本となれるよう、意識をしていかなければなりません。

生活習慣については、朝食を摂っていない子が40人近くに上りました。また、10時を過ぎてから就寝する子が140人以上いるようです。保護者の回答と大きなずれが見られる項目でした。これが、登校の状況と関係している可能性も考えられます。今一度、学校と家庭の連携が求められます。

保護者アンケートにおいて、学校の丁寧な対応について、昨年度同様98%の肯定的評価をいただくことができました。今後も、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、子どもたちの健やかな成長のために取り組んでいきたいと思えます。ご協力よろしくお願いたします。